

社会福祉事業

1. 法人活動状況

- ・ 理事会を 4 回開催し、法人事業等について審議した。8 月に臨時理事会を開催し、社会福祉法人のあり方や経営改善方針を決めて、規程や運営機構等の整備を行った
- ・ 本館ホールで民生委員による子育てサロン等を開催した
- ・ 保育所の夏まつりや半田同胞園展を開催し、地域の方の作品展や同胞園寄席など地域へ向けての取り組みも行って盛況だった

2. 母子生活支援施設の活動報告

- ・ 小学生以上の児童の割合が増え、年間在籍率 94.6% で昨年より増えた
- ・ 退所してもすぐ入所がある状況である。また様々な事情で、保育できない半田市近隣在住の親から子どもを預かるなどの子育て短期支援の受け入れも行った
- ・ 乳幼児の割合が児童の約半数あり、母親育児の補完のための保育や、祝祭日就労時の保育をし、就労支援等を行った
- ・ 昨年度受審した第三者評価の結果や利用者アンケートからの意見を踏まえ、職員全体として母と子の気持ちを把握するよう努め支援を行った
- ・ 今年も国際交流協会の日本語教室、JA 職員の遊び会、日本福祉大学学生の学習会などたくさんのボランティアの方が、児童や母親への支援に協力していただいた
- ・ 半田市共同募金会様を始め、沢山の方よりご寄付等のご支援を頂く

3. 保育所の活動報告

- ・ 250 人定員で、平均在籍人数 252.1 人と乳幼児等、常に満員状況。延長保育も実績平均 103.9 名が利用し、昨年比 135% 増加した
- ・ 昨年実施した「保育所評価」の結果を踏まえ、5 項目の重点努力目標を設定し、「あいさつのできる子の育成」は生活場面等で指導した結果、良くできるようになった
- ・ 「子どもたちに本物に触れさせたい」との思いから、今年は「どじょうつかみ」を市内の鮮魚店の協力を得て初めて行った
- ・ 「お相撲さんと遊ぼう」「いちご狩り」「各種コンサート」などを心に残る行事を行い、子どもたちも楽しんだ
- ・ 病後児保育を各方面に PR をしたことで病後児保育の受け入れが増えた
- ・ 一時保育受入人数は、昨年より減ったが、保護者の精神的な理由が増えた

4. 子育て支援事業「はんだっこ」活動報告

- ・ 半田市より事業の委託を受けて 9 年。増加する利用者のニーズに応えるために、経験豊富な保育士 3 名を派遣し、園長・主査も適切な助言指導でサポートした
- ・ プレイランドの利用状況は依然として年間 5 万人を超え、相談件数は増えている
- ・ 親子で楽しめるさくらんぼリズムを今年から取り入れ行った。毎月 1 回、市内 5 地域で地域における子育て支援「みんなあつまれ」を実施して支援を広げた
- ・ 一時預かりは、昨年より 567 人と大幅に増えて、母のリフレッシュ・病院への通院等の理由で 2,528 人が利用した